

日本整形外科学会教育研修単位の受講について

本学術集会は、日本整形外科学会教育研修単位が認定されています。
対象となる講演は以下の通りです。

第1日 11月16日(土)

時 間	会 場	セッション名	演題名	講 師	必須分野 番号	認定番号 24-1110
8:55～ 9:55	第1会場	理事長講演	性自認と性差に関するスポーツ界の 対応	山澤 文裕	14-5, S	001
9:55～ 10:55	第4会場	教育研修講演4	健康スポーツナース (スポーツナース)がなぜ必要か	帖佐 悦男	14-5, S	002
			スポーツナース制度	鶴田 来美		
9:55～ 10:55	第5会場	教育研修講演6	選手やその関係者を支援するための スポーツ歯学	中禮 宏	1, 2, S	003
10:00～ 11:00	第1会場	特別講演	地域におけるスポーツ医・科学支援 体制構築	室伏 広治	14-5, S	004
12:45～ 13:45	第2会場	ランチョン セミナー1	腱板断裂治療の変遷と将来展望	菅谷 啓之	9, 13, S	006
12:45～ 13:45	第3会場	ランチョン セミナー2	筋ダメージとコンディショニングの 可視化への挑戦	齋田 良知	1, 2, S	005
			プロアスリートにおける血中ミオグロ ビンのモニタリングと有用性	大塚 俊介		
12:45～ 13:45	第4会場	ランチョン セミナー3	スポーツ選手の胸郭出口症候群に 対する包括的アプローチ	古島 弘三	2, 9, S	007
12:45～ 13:45	第5会場	ランチョン セミナー4	スポーツ膝関節診療における 細径関節鏡を用いた評価の有用性	大堀 智毅	1, 12, S	008
13:55～ 14:55	第2会場	教育研修講演2	アスリートの肩関節外傷 ～関節唇損傷と不安定症 UPDATE	菅谷 啓之	2, 9, S	009
13:55～ 14:55	第3会場	教育研修講演3	女性アスリートのコンディショニング ～性ホルモンとスポーツ外傷・障害の 関連に着目して～	能瀬 さやか	1, 2, S	010
13:55～ 14:55	第4会場	教育研修講演5	機能連鎖からみたスポーツ外傷・障害 のリハビリテーション	坂田 淳	1, 13, S	011
13:55～ 14:55	第5会場	教育研修講演7	私の40余年に亘る ACL との格闘	史野 根生	2, 12, S	012
14:00～ 15:00	第1会場	文化講演	夢があるから強くなる ～世界を目指す日本サッカー～	田嶋 幸三	14-5, S	013
16:50～ 17:50	第1会場	教育研修講演1	言語モデルによる生成系 AI の仕組み とその医療での活用における展望と 課題	今井 健	14-5, S	014

第2日 11月17日(日)

時間	会場	セッション名	演題名	講師	必須分野 番号	認定番号 24-1110
9:00～ 10:00	第1会場	教育研修講演8	厚生労働省「健康づくりのための 身体活動・運動ガイド2023」の 概要とエビデンス	澤田 亨	14-5, S	015
10:10～ 11:10	第1会場	特別講演	スポーツを通じた地域活性化	池田 弘	14-5, S	016
12:20～ 13:20	第2会場	ランチョン セミナー5	早期変形性膝関節症の病態と治療 —機械因子を中心に	名倉 武雄	1, 12, S	019
12:20～ 13:20	第4会場	ランチョン セミナー6	腰椎分離症発症：診断と治療の最前線	西良 浩一	7, 13, S	017
			腰椎分離症発症・再発予防のために 必要なこと ～リハビリテーションの視点から～	後藤 強		
12:20～ 13:20	第5会場	ランチョン セミナー7	肩・肘関節のスポーツ障害に対する 対外衝撃波療法	岩堀 裕介	2, 13, S	018
			下肢のスポーツ障害に対する 拡散型圧力波	佐竹 勇人		
13:30～ 14:30	第1会場	教育研修講演9	スポーツ・身体活動関連の 研究倫理指針 ～立案から実践まで	曾根 博仁	14-5, S	020
13:30～ 14:30	第2会場	教育研修講演10	女性アスリートと脳 —女性の月経周期と感覚運動機能—	佐藤 大輔	1, 2, S	021
13:30～ 14:30	第3会場	教育研修講演11	世界から学ぶスポーツ傷害予防 ～IOC World Congress on Prevention of Injury and Illness in Sport との関 わりを通して～	古賀 英之	14-5, S	022
13:30～ 14:30	第4会場	教育研修講演12	パフォーマンス向上の裏で隠れて 見えない呼吸の重要性と可視化への 取り組み	大貫 崇	14-5, S	023

1. 単位申請方法

- 1) 第35回学術集会 HP「各種単位取得について」ページの【日本整形外科学会 教育研修単位 お申し込みはこちら】ボタン、または右図のQRコードより、必要事項を入力してください。
- 2) 学術集会の参加登録時に、ランチョンセミナーの事前申込みをされている場合、単位とは紐づいていませんので、ランチョンセミナーでの単位取得をされる場合、必ず単位申し込みシステムでも同じセミナーを選択の上、1,000円のお支払いをお願いいたします。
- 3) 原則、オンラインでのクレジットカード決済または銀行振込となります(当日はカード決済のみ)。
- 4) 受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し・変更の手続きはいたしません。
- 5) 各日、並列しているプログラムはお申込みできません。



2. 講演会場での手続き

学術集会当日は、講演開始10分前から開始10分後までに、「日整会 JOINTS」のマイページより QR コードを表示の上、会場入口の端末にかざして出席登録を行ってください。
講演開始後10分を過ぎた場合、受講申込みが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

※学術集会の参加証発行 QR コードとお間違えの無いようご注意ください。

※退場時は QR コードをかざす必要はありません。

日本整形外科学会 教育研修単位の取得は、日整会アプリ「JOINTS」の QR コードが必要となります。
QR コードを取得するには、JOINTS への初回ログインを完了いただく必要がありますので、必ず当日までにお済ませいただきますようお願いいたします。
初回ログイン方法等の詳細については日本整形外科学会の HP よりご確認ください。

3. 研修医の方の受講について

単位申請方法の手順に加えて、「研修手帳」の押印欄に、ご本人で「ホームページ参照」と記載をお願いいたします。研修会認定番号および演題名もご本人で記載いただきます。
ただし、平成27年度以降に入会された方は研修手帳への記載は必要ございません。

日本整形外科学会 認定スポーツ医資格継続単位について (学術集会による単位)

学術集会の参加をもって、1単位とします。

本単位は日整会スポーツ医のみ対象となります。

〈単位申請方法〉

日整会の単位として認定されている研修会以外に参加されている方も単位付与の対象となりますが、自動では参加単位が反映されない為、単位反映をご希望される先生は、日整会会員ページより、下記手順にて自己申告申請を行ってください。

- i. ホームページ：<https://www.joa.or.jp/> 右上の「JOINTS ログイン」を押下し、ログイン
- ii. 左のサイドバー(左上「≡」)の「資格・単位」>「単位付与を希望する認定医の名称」>「自己申告申請(認定医関連学会)」より、参加証又は受講証明書をご登録ください。

※日整会初回ログインマニュアルは、下記のログインページにあります。

<https://joints.joa.or.jp/Account/Login>

日本スポーツ協会公認スポーツドクター・公認アスレティックトレーナー 資格更新のための更新研修について

第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会は、日本スポーツ協会公認スポーツドクターおよび公認アスレティックトレーナー資格更新のための更新研修会の一つとなります。資格をお持ちの方は、ご自身の更新研修受講状況をご確認の上、未受講の方は下記の通り手続きをしてください。

1. 申請方法

- 1) 指定演題を合計4時間(240分)以上、聴講してください。
各セッションは最初から最後まで聴講することが条件となります。
- 2) 「出席確認カード」に必要事項を記入の上、日本スポーツ協会までメールまたはFAXにて送付してください。その際、表面にネームカードのコピーを貼付してください。
※「出席確認カード」は、当日、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2階アトリウムで配布します。また、日本スポーツ協会のホームページからもダウンロード可能です。

2. 送付先

日本スポーツ協会スポーツ指導育成部 スポーツドクター担当/AT担当
FAX: 03-6910-5820 E-mail: drat-kakunin@japan-sports.or.jp

3. 送付期限

2024年12月6日(金)

4. 研修受講状況および資格期限有効確認方法等

- 指導者マイページよりご確認ください。
指導者マイページ URL ⇒ https://account.japan-sports.or.jp/sign_in
- 登録状況およびスポーツ指導者マイページに関するご質問は下記までお問い合わせください。
TEL: 03-5148-1763(公認スポーツ指導者登録係)
- 既に有効期限が切れている方は資格の更新にあたり「復活登録申請書」の提出および再登録料が別途必要となる場合があります。出席確認カードを提出後日本スポーツ協会までお問い合わせください。
- マイページ上の更新研修受講状況の反映には、「出席確認カード」および「視聴確認カード」を提出いただいてから4~6週間程度お時間をいただきます。予めご了承ください。

※単位に関する最新情報は本学術集会ホームページ「各種単位取得について」をご確認ください。

日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト 資格更新のための更新研修について

第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会は、日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト資格更新のための更新研修会の一つとなります。資格をお持ちの方は、ご自身の更新研修受講状況をご確認の上、未受講の方は下記の通り手続きをしてください。

1. 申請方法

- 1) 指定演題を合計4時間(240分)以上、聴講してください。そのうち、1講演は次ページに掲載の必須演題(60分)を含んでください。
- 2) 「出席確認カード」に必要事項を記入の上、日本歯科医師会までメール送信または郵送またはFAXにて提出してください。その際、2ページ目にネームカードのコピーを添付してください。

※「出席確認カード」は、当日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 2階アトリウムで配布します。また、日本スポーツ協会のホームページからもダウンロード可能です。

2. 送付先

日本歯科医師会 スポーツデンティスト担当

FAX：03-3262-9885 (TEL：03-3262-9213)

3. 送付期限

2024年12月6日(金)

4. 研修受講状況および資格期限有効確認方法等

- 指導者マイページよりご確認ください。
指導者マイページ URL ⇒ https://account.japan-sports.or.jp/sign_in
- 登録状況およびスポーツ指導者マイページに関するご質問は下記までお問い合わせください。
TEL：03-5148-1763(公認スポーツ指導者登録係)
- マイページ上の更新研修受講状況の反映には、「出席確認カード」および「視聴確認カード」を提出いただいてから4～6週間程度お時間をいただきます。予めご了承ください。

※単位に関する最新情報は本学術集会ホームページ「各種単位取得について」をご確認ください。

日本スポーツ協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー 日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト 指定演題一覧

第1日 11月16日(土)

※スポーツデンティスト資格更新の場合には、★がついたセッションを必須聴講とする。

セッション	講演タイトル	会場	開始時刻	終了時刻	所要時間	スポーツドクター・アスレティックトレーナー	スポーツデンティスト
理事長講演	性自認と性差に関するスポーツ界の対応	第1会場	8:55	9:55	60分	○	○
シンポジウム3	スポーツ選手に対する多血小板血漿治療のエビデンス	第2会場	9:25	10:55	90分	○	○
シンポジウム7	スポーツにおける突然死を無くすために	第3会場	9:25	10:55	90分	○	○
教育研修講演4	健康スポーツナース(スポーツナース)がなぜ必要か ／スポーツナース制度	第4会場	9:55	10:55	60分	○	○
教育研修講演6	選手やその関係者を支援するためのスポーツ歯学	第5会場	9:55	10:55	60分	○	○★
特別講演	地域におけるスポーツ医・科学支援体制構築	第1会場	10:00	11:00	60分	○	○
シンポジウム1	日本臨床スポーツ医学会・新潟スポーツ医科学コンソーシアム合同シンポジウム アスリートパスウェイに基づく地域における スポーツ医・科学支援体制構築の取り組み	第1会場	11:05	12:35	90分	○	○
シンポジウム4	高校野球球数制限の pros & cons (光と影)	第2会場	11:05	12:35	90分	○	○
シンポジウム8	クリニックにおける多職種連携による医科学サポート	第3会場	11:05	12:35	90分	○	○
シンポジウム11	スポーツ栄養におけるエビデンスとその活用	第4会場	11:05	12:35	90分	○	○
女性会員支援部会 企画シンポジウム	スポーツにおける女性メディカルスタッフの活動支援 ～スポーツ現場見学・研修マッチングプログラムの 活用と課題～	第5会場	11:05	12:05	60分	○	○
ランチョンセミナー1	腱板断裂治療の変遷と将来展望	第2会場	12:45	13:45	60分	○	○
ランチョンセミナー2	筋ダメージとコンディショニングの可視化への挑戦 ／プロアスリートにおける血中ミオグロビンの モニタリングと有用性	第3会場	12:45	13:45	60分	○	○
ランチョンセミナー3	スポーツ選手の胸郭出口症候群に対する 包括的アプローチ	第4会場	12:45	13:45	60分	○	○
ランチョンセミナー4	スポーツ膝関節診療における細径関節鏡を用いた 評価の有用性	第5会場	12:45	13:45	60分	○	○
教育研修講演2	アスリートの肩関節外傷 ～関節唇損傷と不安定症 UPDATE	第2会場	13:55	14:55	60分	○	○
教育研修講演3	女性アスリートで頻度が高い疾患と スポーツ外傷・障害	第3会場	13:55	14:55	60分	○	○
教育研修講演5	機能連鎖からみたスポーツ外傷・障害のリハビリテー ション	第4会場	13:55	14:55	60分	○	○
教育研修講演7	私の40余年に亘る ACL との格闘	第5会場	13:55	14:55	60分	○	○

文化講演	夢があるから強くなる ～世界を目指す日本サッカー～	第1会場	14:00	15:00	60分	○	○
AMSSM 招待講演	Workloads and Pitch Counts in Adolescent Throwing Athletes: Is It Time for an Updated Paradigm ?	第6会場	15:00	16:00	60分	○	○
シンポジウム5	ACL 再建後の復帰のタイミング	第2会場	15:05	16:35	90分	○	○
シンポジウム9	各専門職の連携によるより良い競技復帰に向けた脳震盪後の現場サポートを考える	第3会場	15:05	16:35	90分	○	○
シンポジウム12	日本におけるスポーツ医学教育の現状と課題	第4会場	15:05	16:35	90分	○	○
シンポジウム2	JISS/HPSC、新潟スポーツ医・科学コンソーシアム 合同シンポジウム 女性アスリート支援ネットワーク構築への取り組み	第1会場	15:10	16:40	90分	○	○
国際委員会共同企画	Development of a Protocol to Evaluate Baseball Pitcher's Workload and Prevention of Injury.	第6会場	16:05	17:35	90分	○	○
シンポジウム6	スポーツ外傷・障害に対する低侵襲治療 —適応と課題、集学的治療の可能性—	第2会場	16:45	18:15	90分	○	○
シンポジウム13	日本臨床スポーツ医学会・日本eスポーツ連合 合同シンポジウム eスポーツと健康	第4会場	16:45	18:15	90分	○	○
教育研修講演1	言語モデルによる生成系 AI の仕組みとその医療での活用における展望と課題	第1会場	16:50	17:50	60分	○	○

第2日 11月17日(日)

セッション	講演タイトル	会場	開始時刻	終了時刻	所要時間	スポーツクター・アスレティックトレーナー	スポーツデンティスト
教育研修講演8	厚生労働省「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」の概要とエビデンス	第1会場	9:00	10:00	60分	○	○
シンポジウム15	トップスポーツリーグの医科学支援の現状と課題	第2会場	9:00	10:30	90分	○	○
シンポジウム18	日本小児整形外科学会合同シンポジウム 骨端症の最新の診断と治療	第3会場	9:00	10:30	90分	○	○
シンポジウム21	日本臨床スポーツ医学会・日本スポーツ理学療法学会 合同シンポジウム アスリートの腰痛予防を考える	第4会場	9:00	10:30	90分	○	○
シンポジウム24	アスリートと呼吸器障害	第5会場	9:00	10:30	90分	○	○
特別講演	スポーツを通じた地域活性化	第1会場	10:10	11:10	60分	○	○
シンポジウム16	足部・足関節の不安定性に迫る	第2会場	10:40	12:10	90分	○	○
シンポジウム19	日本臨床バイオメカニクス学会合同シンポジウム アスリートのパフォーマンスを支える様々な“可視化”	第3会場	10:40	12:10	90分	○	○
シンポジウム22	日本臨床スポーツ医学会・日本アンチ・ドーピング機構 合同シンポジウム アンチ・ドーピングと医療	第4会場	10:40	12:10	90分	○	○
シンポジウム25	日本骨粗鬆症学会合同シンポジウム 生涯スポーツと骨粗鬆症の関わり	第5会場	10:40	12:10	90分	○	○

ランチョンセミナー5	早期変形性膝関節症の病態と治療 —機械因子を中心に	第2会場	12:20	13:20	60分	○	○
ランチョンセミナー6	腰椎分離症：診断と治療の最前線／腰椎分離症発症・再発予防のために必要なこと ～リハビリテーションの視点から～	第4会場	12:20	13:20	60分	○	○
ランチョンセミナー7	肩・肘関節のスポーツ障害に対する体外衝撃波療法 ／下肢のスポーツ障害に対する拡散型圧力波	第5会場	12:20	13:20	60分	○	○
教育研修講演9	スポーツ・身体活動関連の研究倫理指針 ～立案から実践まで	第1会場	13:30	14:30	60分	○	○
教育研修講演10	女性アスリートと脳 —女性の月経周期と感覚運動機能—	第2会場	13:30	14:30	60分	○	○
教育研修講演11	世界から学ぶスポーツ傷害予防 ～ IOC World Congress on Prevention of Injury and Illness in Sport との関わりを通して～	第3会場	13:30	14:30	60分	○	○
教育研修講演12	パフォーマンス向上の裏で隠れて見えない呼吸の 重要性と可視化への取り組み	第4会場	13:30	14:30	60分	○	○
シンポジウム14	部活動から地域スポーツクラブ活動へ：スポーツ 医科学支援によるスポーツ環境の構築を目指して	第1会場	14:40	16:10	90分	○	○
シンポジウム17	日本臨床スポーツ医学会・日本基礎理学療法学会・ 日本スポーツ理学療法学会・日本運動器理学療法学会・ 日本物理療法学会合同シンポジウム スポーツ現場における超音波エコーの活用 ～医師と理学療法士の連携～	第2会場	14:40	16:10	90分	○	○
シンポジウム20	東京大会後、出場権を勝ち取ったチームのプロセス	第3会場	14:40	16:10	90分	○	○
シンポジウム23	日本メディカルフィットネス研究会 (JMFS) 合同シンポジウム メディカルフィットネスの有用性と健全な施設運営	第4会場	14:40	16:10	90分	○	○

日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会単位について

下記講演は、日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医1単位、日本リハビリテーション医学会認定臨床医10単位(1講演/1,000円)が認められています。

※生涯教育講演受講での会期中の最大取得単位は、日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医が2単位、日本リハビリテーション医学会認定臨床医が20単位を上限とします。

第1日 11月16日(土)

時間	会場	セッション名	演題名	講師
8:55~9:55	第1会場	理事長講演	性自認と性差に関するスポーツ界の対応	山澤 文裕
10:00~11:00	第1会場	特別講演	地域におけるスポーツ医・科学支援体制構築	室伏 広治
13:55~14:55	第2会場	教育研修講演2	アスリートの肩関節外傷 ～関節唇損傷と不安定症 UPDATE	菅谷 啓之
13:55~14:55	第3会場	教育研修講演3	女性アスリートのコンディショニング ～性ホルモンとスポーツ外傷・障害の 関連に着目して～	能瀬 さやか

第2日 11月17日(日)

時間	会場	セッション名	演題名	講師
13:30~14:30	第1会場	教育研修講演9	スポーツ・身体活動関連の研究倫理指針 ～立案から実践まで	曾根 博仁
13:30~14:30	第3会場	教育研修講演11	世界から学ぶスポーツ傷害予防 ～ IOC World Congress on Prevention of Injury and Illness in Sport との 関わりを通して～	古賀 英之

〈単位申請方法〉

2F アトリウムの記帳台に設置している受講申込書に必要事項をご記入の上、受講料(1講演/1,000円)を添えて単位受付へお申し込みください。

※受講証明書の再発行は出来かねますので、申請時まで大切に保管してください。

※講演開始時間を過ぎた単位の受付はできません。

日本健康運動看護学会 健康スポーツナース更新講習

本学術集会では、健康スポーツナース更新講習会(1時間)として認定されております。

※健康スポーツナース資格更新時には、参加を証明できる書類(参加証、領収書など)の提出が必要ですので、参加を証明できる書類を更新時まで各自保管していただきますようお願いいたします。

健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新

この第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会は、健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として、講義3.0単位が認められます(認定番号:246568)。

〈単位申請方法〉

1. 学術集会当日、2F アトリウムの単位受付にお越しください。
2. 受付にて必要事項を記入していただきましたら、健康運動指導士証・健康運動実践指導者証を確認いたしますので、必ずご持参ください。
3. 確認が取れましたら受講証明書をお渡しいたします。

日本医師会認定 健康スポーツ医学再研修受講について

第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会は、日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会として認められています。

第1日 11月16日(土)

時間	会場	セッション名	演題名	講師	単位数
8:55～ 9:55	第1会場	理事長講演	性自認と性差に関するスポーツ界の対応	山澤 文裕	1
10:00～ 11:00	第1会場	特別講演	地域におけるスポーツ医・科学支援体制構築	室伏 広治	1
13:55～ 14:55	第3会場	教育研修講演3	女性アスリートのコンディショニング～性ホルモンとスポーツ外傷・障害の関連に着目して～	能瀬 さやか	1
16:50～ 17:50	第1会場	教育研修講演1	言語モデルによる生成系 AI の仕組みとその医療での活用における展望と課題	今井 健	1

第2日 11月17日(日)

時間	会場	セッション名	演題名	講師	単位数
9:00～ 10:00	第1会場	教育研修講演8	厚生労働省「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」の概要とエビデンス	澤田 亨	1
10:10～ 11:10	第1会場	特別講演	スポーツを通じた地域活性化	池田 弘	1
13:30～ 14:30	第4会場	教育研修講演12	パフォーマンス向上の裏で隠れて見えない呼吸の重要性と可視化への取り組み	大貫 崇	1

〈単位申請方法〉

セッション毎に会場入口でスタッフが「受講確認票」をお渡しいたします。

所属医師会県名、医籍登録番号、所属医療機関名、連絡先(電話番号、メールアドレス)をご記入いただき、セッション終了後、会場退出時スタッフに「受講確認票」をご提出ください。

「受講確認票」と引き換えに「受講証」をお渡しいたします。